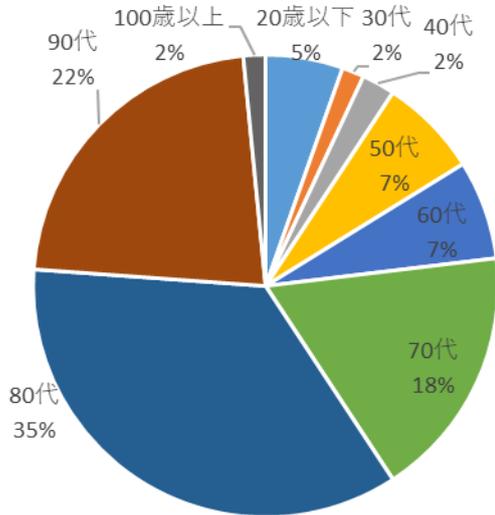


聞こえのアンケート集計

依頼数：130人（身体障がい者手帳 聴覚障がいの認定がある人）

うち65歳以上の方は106人



20歳以下	7
30代	2
40代	3
50代	9
60代(65歳以下3人)	9
70代	23
80代	46
90代	29
100歳以上	2

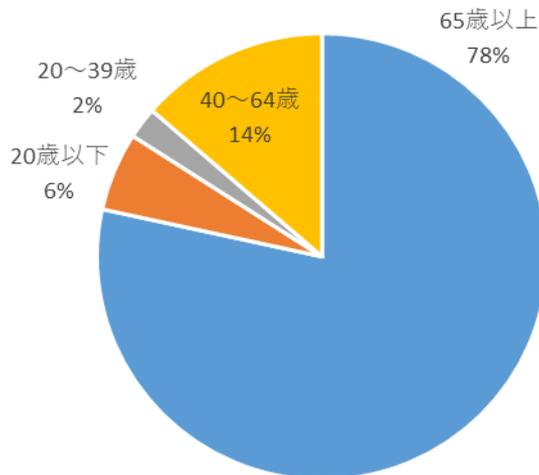
回収率は約68%（88名）

未回答者は、高齢や他の障がいとの重複が多い。

【設問別 回答内容】

①氏名（省略）

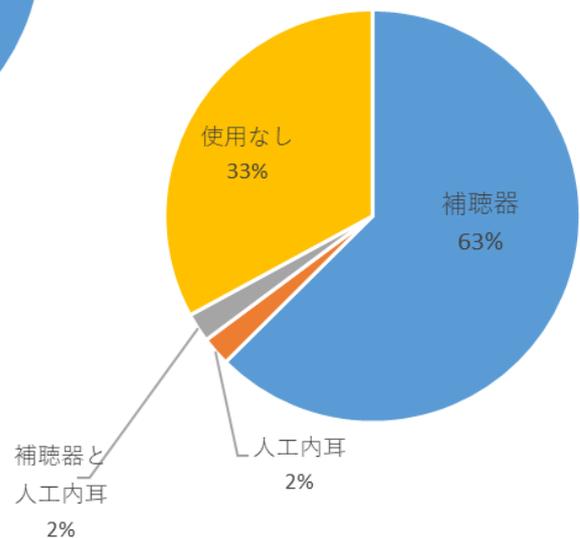
②年齢



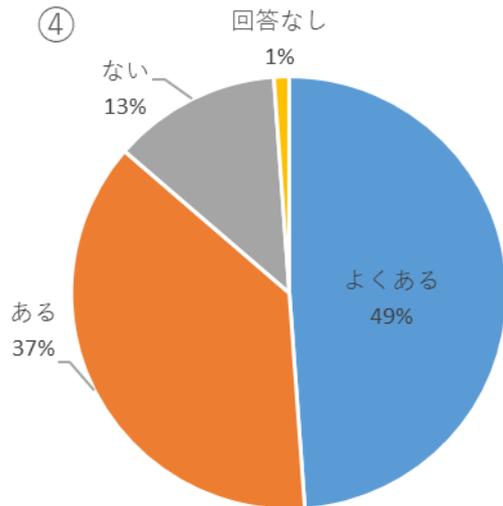
65歳以上	69
20歳以下	5
20～39歳	2
40～64歳	12

③補聴器等の使用状況

補聴器	55
人工内耳	2
補聴器と人工内耳	2
使用なし	29

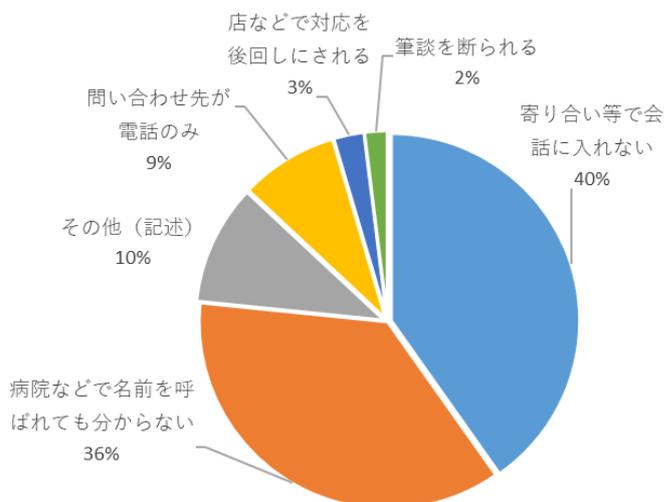


④生活の中でコミュニケーション（会話）に困ることがあるか



よくある	43
ある	33
ない	11
回答なし	1

⑤ ④の質問で「よくある」「ある」と回答した人のうち、どのような場面か（複数回答可）



寄り合い等で会話に入れない	62
病院などで名前を呼ばれても分からない	56
その他（記述）	16
問い合わせ先が電話のみ	13
店などで対応を後回しにされる	4
筆談を断られる	3

※その他

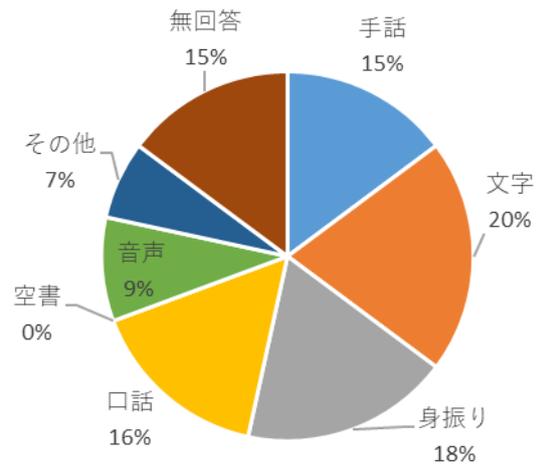
- ◆会話や電話で、相手の方の声の質によっては聞こえないことがある。
- ◆補聴器をしているが、よく聞こえない時がある。
- ◆コロナ禍の時、マスクで口もとが隠れ、話が分かりにくかった。何度も聞き返し、話を打ち切られた時があった。
- ◆自閉症の傾向があり、手話通訳があっても難しい時がある。
- ◆問い合わせ先が電話対応ではなく、メールでの問い合わせがあっても困る場合がある。メールのみの受付でも困ることが多い。
- ◆会話方法が限定的。
- ◆補聴器を使用し、大きな声で話せば会話できる。電話は補聴器をしてもできない。
- ◆電話がかかってきた時、家族がいないと対応できない。
- ◆家族間のコミュニケーションにも支障がある。

- ◆講演会等、声質によって聞き取りにくい時がある。狭い店や車内等では、声が聞き取りにくい。
- ◆何度も聞きなおすと不快にさせるのではと思い、気をつかう。
- ◆テレビは字幕がないと分からない。
- ◆医師と意思疎通出来ず、病状や注意事項がわからず不安。
- ◆テレビ通販でほしい物があっても、電話がかけられない。
- ◆聞き間違いが多く、何度も聞き返してしまう。
- ◆静かな場所であれば、呼び出しは問題ない。
- ◆大勢の中では、声の聞き取りができない。個人対応なら、聞き取れる。電話は、ゆっくりでないと話が分かりにくい。
- ◆補聴器は汗をかくと故障しやすくなるので、場合によっては筆談の方がいい。
- ◆盲ろうのため筆談ができない。

⑥聴覚に障がいのある人とのコミュニケーション方法（よく使う順に、1番から3番まで選択）

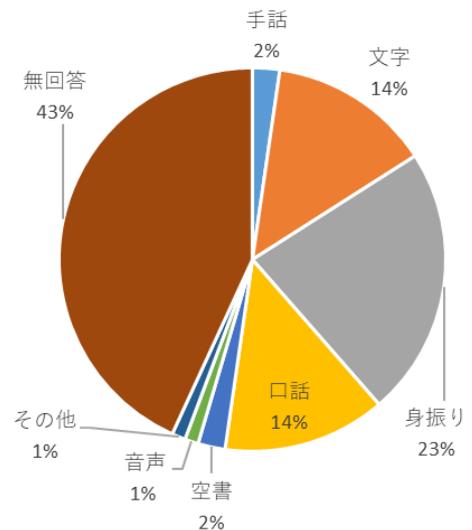
●1番使う

手話	13
文字	18
身振り	16
口話	14
空書	0
音声	8
その他	6
無回答	13



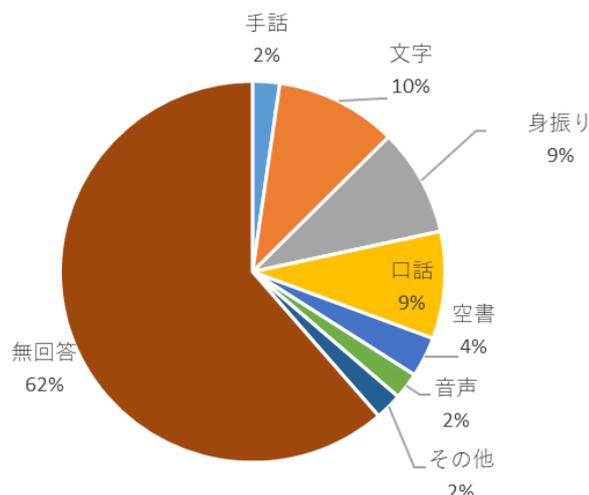
●2番目に使う

手話	2
文字	12
身振り	20
口話	12
空書	2
音声	1
その他	1
無回答	38



●3番目に使う

手話	2
文字	9
身振り	8
口話	8
空書	3
音声	2
その他	2
無回答	54

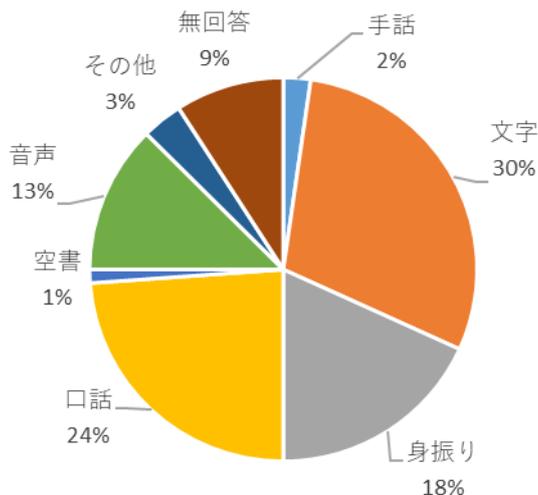


- コミュニケーションを取る機会がない。(4件)
- (手話と身振り、文字と口話など2つ選択)口を見ながら、文字をiPadなどで検索して画面に出し、状況に合わせて読み取る。
- メールやLINEを使う。
- 知的障がいがあり、経験がない。
- 出来るだけ大きな声で話す。

⑦聞こえる人とのコミュニケーション方法（よく使う順に、1番から3番まで選択）

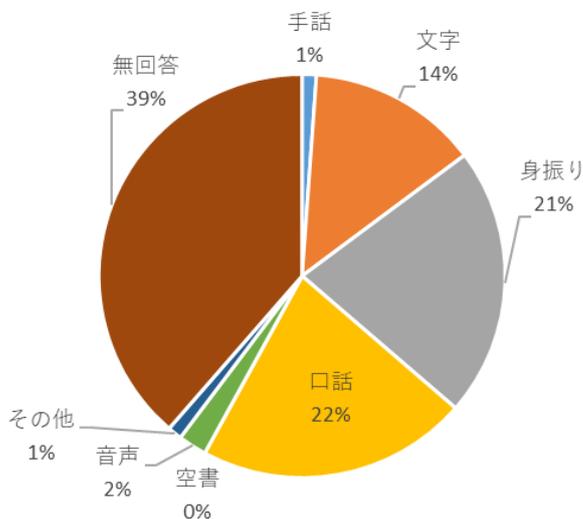
■1番使う

手話	2
文字	26
身振り	16
口話	21
空書	1
音声	11
その他	3
無回答	8



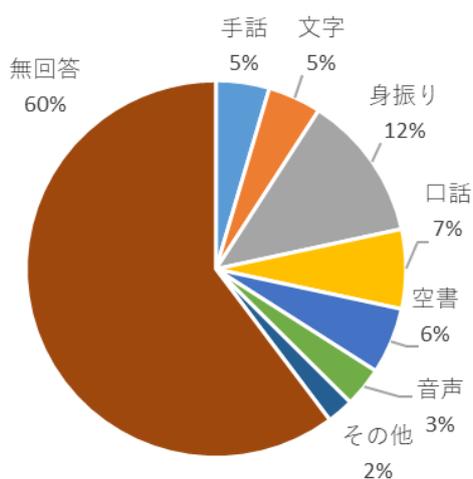
■2番目に使う

手話	1
文字	12
身振り	19
口話	19
空書	0
音声	2
その他	1
無回答	34



■3番目に使う

手話	4
文字	4
身振り	11
口話	6
空書	5
音声	3
その他	2
無回答	53



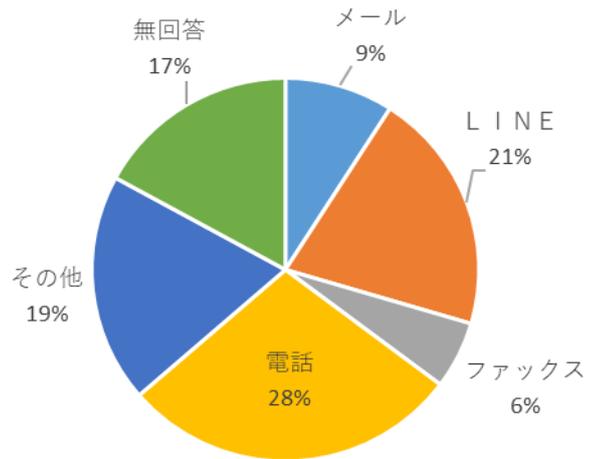
◆聞こえる人に合わせ、文字を書いたり（空書含む）、口話を読み取ったりジェスチャーや身ぶりをして伝える。

◆手のひらに指で文字を書く。

⑧いつも使う通信方法（手段）は何か（よく使う順に、1番から3番まで選択）

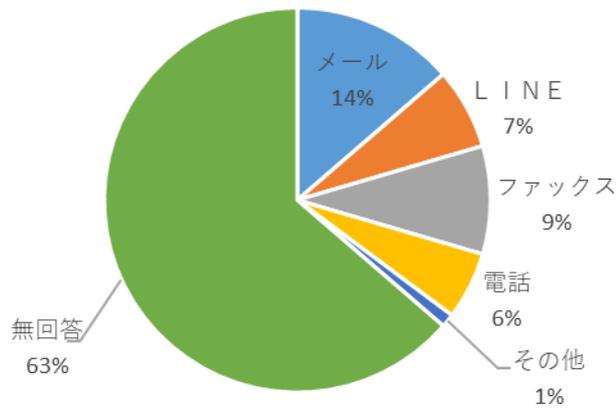
▲1番使う

メール	8
L I N E	18
ファックス	5
電話	25
その他	17
無回答	15



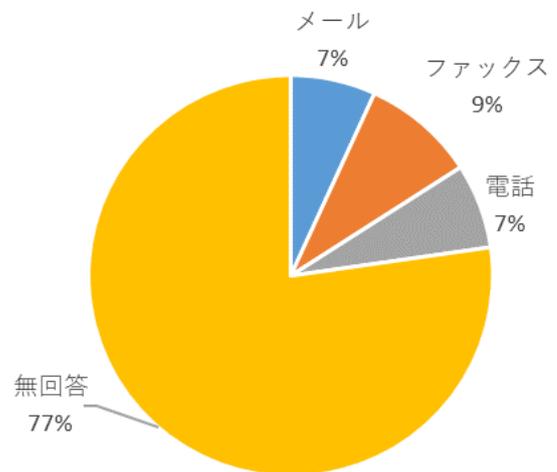
▲2番目に使う

メール	12
L I N E	6
ファックス	8
電話	5
その他	1
無回答	56



▲3番目に使う

メール	6
L I N E	0
ファックス	8
電話	6
その他	0
無回答	68

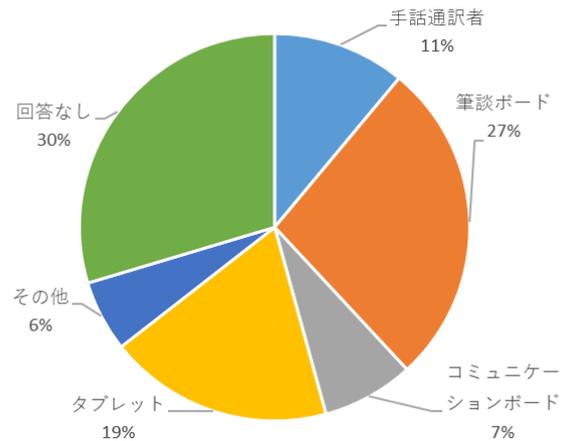


※その他

- 使用できない、使用しない（視覚障がいや知的障がいなどと重複、高齢など 14件）
- 子に依頼（2件）
- 手紙
- 筆談
- 電話だが聞こえないことが多い

⑨市役所等の施設やお店でコミュニケーションのために配置してほしいもの（複数回答可）

手話通訳者	13
筆談ボード	32
コミュニケーションボード	9
タブレット (音声→文字変換)	22
その他	7
回答なし	35



※その他

◆拡聴器

◆Wi-Fi

◆付き添い（補助）してくれる人

◆歩行困難など高齢のため1人で行けない（2件）

◆親族に伝言してもらう

◆重複障がいへの理解が必要。通訳者や筆談ボード、音声で文字が変わるタブレット全てが用意されても、聴覚や視覚の障がいに加え自閉傾向がある人等もいる。会話に困っていることへの理解も必要。

⑩その他意見・要望など（一部）

●アンケート調査は、自身の障がいに向き合ってもらったと感じた。ろう者が安心して暮らせるよう力添えしてもらえたと、以前より感じた。住みやすい社会の実現に向け、一層対応をお願いしたい。アンケートには協力し、意見や要望を伝えていきたい。

●肩をたたいてから、話してくれる。以前、病院に行った際には、あまり理解してもらえなかった。高齢となり諦めている事もあり、あまり出かけない。

●補聴器をしても、長い話の時・マスク着用時には分からない事が多い。聴覚障がいがあることが伝わらず、不快に思われる方もいる。病気の時、新しい病院には行きにくい。健診で聞き返し、聴覚障がいのある事を先に伝えておらず、嫌な顔をされたことがあった。

●アパート住まいで有線放送がない。困ることもあり、災害時など不安がある。

●高齢なので、どこかへ行くときは必ず家族がついてきてくれる。

●親族が回答。本人は入所しており、アンケートの主旨にはそぐわないかもしれない。入退院をくり返し、補聴器も使わなくなっている。

●若い人は小さな声で対応されるので困る。補聴器をつけても、完全に聞こえるわけではない。

●高齢なので電話に出ない。家族に手伝ってもらい、コミュニケーションは筆談のみ。

●声や音は聞こえるが、言っている言葉が分かりにくい時がある。口を見せて分かりやすくしゃべってほしい。

- 年を重ねてから手話を習得する事には不安がある。手話以外のコミュニケーション方法が身近である。タブレット使用方法も、人によっては使い方を理解しておらず難しいと感じる。
- 口話を見ながら聞いているが、コロナ流行からマスクをしている人が多くなり大変。何度も聞くのがわるいと思い、会話が少なくなった。
- 突発性難聴で右耳が全く聞こえない。左耳は補聴器を付け、家族の会話、人とのコミュニケーションは困ることなく生活している。テレビは文字放送を利用して楽しむ。福祉の充実に感謝している。
- 50才頃から聞こえづらくなり、手話は覚えていない。補聴器を使用しているが、良く聞こえる補聴器は高額で負担が大きく、何とかならないかと思う。今使用しているものは、両耳で80万円程度。
- 高齢となり、まわりに迷惑かけたくない。やる気が起きず、がまんしている事もある。
- 補聴器を使用しているが、身体の調子の悪いときは理解しにくい。
- 障がいのある人にもっと色々な情報がほしい。就職する場所も増やしてほしい。
- 外出には家族が付いている。本人に声をかけていただく際、少し大きめの声で話していただければありがたい。
- 父は高齢者で一人暮らし。補聴器の申請が一人でできず、私が遠方に住んでいるのですぐに行動が出来なかったが、障がい福祉課の配慮があり感謝している。また、業者の方も優しく丁寧に説明して下さい、ありがたく思った。父も補聴器を付け、会話がよく聞こえてとても喜んでいる。
- 同時期に聴覚・視覚に障がいが出て、手話や点字習得困難。コミュニケーション手段も限られ、通信手段は現時点では全く使用できない。